科目コード／科目名 （Course Code / Course Title）	自然環境の保全 (Nature conservation)		
テーマ／サブタイトル等 （Theme / Subtitle）	＜都市に住む鳥類を通して自然を理解する＞		
担当者名 （Instructor）	松原　始(MATSUBARA HAJIME)		
学期 （Semester）	秋学期(Fall Semester)	単位 （Credit）	２単位(2 Credits)
科目ナンバリング （Course Number）	CMP2500	言語 （Language）	日本語 (Japanese)
備考 （Notes）			

授業の目標（Course Objectives）

鳥類は非常に身近であり、かつ目につきやすい生物であると同時に、環境を知る指標としても重要である。この授業は身近な都市に生息する野鳥を通して生態系・生物学の基礎を学び、保全問題、人間と自然の関わりについて知識を深めることを目的とする。

Birds are very familiar to us and conspicuous animal. Adding to that, they are important to access the environment and its changing. This class aims understanding basic ecology and biology to know natural conservation. For that aim, I introduce the life histories of urban birds and the relationship with human activities.

授業の内容（Course Contents）

東京のような大都市であっても、我々の周囲には多くの野鳥が生活している。鳥たちはどのような生活史をもつのか。また、その生活史は人間の活動とどのように関連し、どのような問題を引き起こしているのか。身近な鳥類を取り上げてその生活史をなるべく具体的に解説する。また身近な鳥類を通して、環境問題・保全問題を考える一助としたい。

We can see many species of birds around us, even in big cities like Tokyo. How they are living in urbanized environment?　How the urban environment affect on their life, and what problems is caused by that? I will pick up some　topics of common birds in Japan. And hope this class can help your understanding environment and conservation.

授業計画（Course Schedule）

1. 都市鳥とよばれる鳥たち
2. 鳥から見た都市の環境・採餌
3. 鳥から見た都市の環境・営巣
4. 鳥から見た都市の環境・ねぐら
5. カラスの博物誌
6. カラスの自然史
7. カラスを調べる
8. 都市鳥とイメージ
9. 餌付け
10. 最も身近な鳥　スズメとツバメ
11. 夜の都市鳥・光や騒音の影響
12. 移入種と新たな都市鳥
13. 緑地の構造と鳥類への影響
14. 総集編

授業時間外（予習・復習等）の学習（Study Required Outside of Class）

家の中からでもよいので、身の回りにどんな鳥がいるか見ておくこと。

成績評価方法・基準（Evaluation）

レポート試験(Report Exam)(100%)

テキスト（Textbooks）

特に指定しない

No requirement

参考文献（Readings）

特に指定しないが、授業中に参考となる図書や文献を紹介する。

No requirement, I will tell some adequate readings and papers

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

特になし

No requirement

注意事項（Notice）